

学生企画活動支援事業活動報告

● 第4回 京終☆ビバ



このイベントの目的は「JR京終駅前地域の活性化」です。それが今までできていなかったのではないかとこの考えから、今回は駅前の新しいお店、フリースペースを広く知ってもらおうと、テントで出店してもらいました。それに加え、大正・昭和期の青果市場があったころの賑わいを再現したいということで、奈良の農家の野菜を直売したりしました。これまで、小学生とそのお母さん世代の参加が中心でしたが、年配の方も野菜を買いに来てくれたので、少し年齢層が広がったと思います。

新しい試みとして、エンディングで(運営委員の)学生有志によるダンスも披露され、好評を博しました。また、ギターマンドリン部も人気で、表のステージだけでなく、会館の裏のフリーマーケットでも演奏の依頼があり、また近くの医療施設の人からも、中で演奏してほしいと頼まれ、引き受けてくれました。

イベントを通して、新たな人と人とのつながりを増やすことができ、成功だったのではないかと思います。

記事：松田康孝(環境教育コース4回生)



● 造形ひろば

毎年、造形ひろばを通して、学生のうちから子供とふれあったり教材の研究をしたりなどの経験をする事ができとても勉強になりました。

開催中の活動は、子供の反応や作品を見たり感じたり、様々な発見の多い充実したものでした。

そして、開催する前の準備期間もまた沢山の発見がありました。みんなで協力しあい、計画をたてて、会議に出たり、必要なものを揃えたり試作品を作ったりしました。

しんどくなることもありましたが、準備で造形ひろばの内容が決まってしまうので、いい加減には出来ません。

それでもやろうと思うのは、もちろん私達のためであるけれど、今まで造形ひろばを続けてくれた先輩たちのことや、これから入ってくる後輩たちのために、この造形ひろばを残したいとも感じたからです。

今回、造形ひろばは学生企画活動支援事業で採用されました。そのおかげで、私達のしたいことを充分にすることができました。

造形ひろばの参加者も毎年増加傾向にあり、平成20年度の造形ひろばでは約300人の参加者が訪れました。

これからもみんなで頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

記事：倉原三愛(身体・表現コース4回生)



● たまごレク



私たちたまごレク実行委員は、レクリエーションを通して人とふれ合う温かさを感じてほしい!!!という想いで今年度も活動しています。去る平成20年11月9日には第4回たまごレクを開催しました。たまごレクでたくさん笑って、また明日からそれぞれの場所で元気にがんばってもらいたいという願いをこめ、テーマを「いっぱい笑えば心が元気」にしました。

最初は少し緊張した面もちだった参加者のみなさんも、ゲームや歌が始まると徐々に表情も和らぎ、たくさんの笑顔が生まれていました。参加者の方々に書いて頂いたアンケートには「とても楽しかった」「パワーをもらった」などの感想も多くあり、レクリエーションを学ぶだけではなく、参加者自身が楽しめる場になっていないかと嬉しく思います。

また、学内だけでなく他大学の学生や現職の先生方も参加して下さり、お互いの交流の場にもなっていると感じました。

今年度中に第5回たまごレクを計画しています。たまごレクの輪を広げ、またたまごレクのつながりを深められるように今後も活動したいと思っています。

記事：米田真希子(教育・発達基礎コース3回生)



● 第59回輝薨祭を終えて&学生企画「Let's リサイクル」活動報告

今年度の大学祭は創立120周年を迎える奈良教育大学に合わせてテーマを「120ページ目」とし、本学のイメージキャラクターである“なっきょん”をもちいどの商店街に派遣して宣伝を行うなど、120周年を迎える奈良教育大学を押し出す形で大学祭を行わせて頂きました。

また、学生企画活動支援事業に採用されて2年目となるリサイクル活動は今年も大好評でした。2年目ということで、リサイクルトレーのことを知っている方も増え、昨年より円滑に回収することができました。その結果、リサイクルトレーの回収率も昨年より上げることができました。これもリサイクル事業を支援して下さった方、模擬店を出店された方、その他この事業に関わって下さった多くの方の協力があったことだと実感しています。本当にありがとうございました。

来年度以降もリサイクル事業を続けることで、環境問題に対する意識を高めていけたらと感じています。

記事：小原 護(理数・生活科学コース3回生)

学祭中 全て
模擬店

食べ物皿はリサイクル

豪華!

トレー1枚につき抽選券1枚と交換
3枚で1回抽選!

回収場所 2ヶ所
駐輪場前 講義棟前

大学祭実行委員会